




新技術・新工法概要表(様式2)

| | | | | | |
|-----------|---|----------------------|-----------|---|--|
| 新技術の名称 | グラベルボックス | | 本概要書作成日 | 令和2年8月17日 | |
| 副題等 | 控え式砕石かご擁壁 | | 開発年度 | 令和元年度 | |
| | | | 更新年度 | 令和元年度 | |
| 区分 | ①.工法 2.材料 3.機械 4.製品 5.その他 | 工種分類 (2工種まで記入可) | 工種番号 | 工種分類 | |
| | | | 6-1 15 | 農道(道路) 法面保護 | |
| 開発会社(機関名) | 共和ハーモテック株式会社 | | | | |
| 問合せ先 | 会社名 | 共和ハーモテック株式会社 | 担当部署 | 事業推進部大阪支店 | |
| | 住所 | 大阪府大阪市淀川区三国本町1丁目5-25 | | | |
| | 担当者氏名 | 中村忠弘 | T E L | 06-6392-1951 | |
| | F A X | 06-6395-7538 | 関連するU R L | http://www.k-harmotech.co.jp/ | |
| 開発の趣旨・目的 | <p>本技術は、従来の大型ブロック積工に比べ、施工性、経済性に優れたかご製品です。かご部と胴込部が一体化した構造で、多段積する事でもたれ式タイプの擁壁を構築します。中詰・胴込材に小粒石やクラッシャーランを使用することで、高い排水性を確保しつつ、経済性の向上と工程短縮を可能にしました。</p>  | | | | |

| | | |
|-------|---|--|
| 技術の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・本技術は、網目の細かい金網を採用することで、中詰材に単粒度砕石やクラッシャーラン(シート別途必要)を使用できるかご製品です。 ・本体構造は、前面の「かご部」と背面の「胴込部」から構成され、かご部に「単粒度砕石」を、胴込部に「クラッシャーラン」を使用できます。 ・中詰材に単粒度砕石やクラッシャーランを使用することで、中詰め作業が簡素化され、施工性の向上が期待できます。 ・胴込部に、比較的入手しやすく安価なクラッシャーランを採用することで、経済性に優れた構造物の構築が可能です。 ・胴込部の控え幅を現場条件に合わせて変更することができ、高い直高でに適用可能な技術である。 ・本体は亜鉛アルミ合金めっき溶接金網で構成されており、本設工事に採用可能な耐久性を有しています。   | |
|-------|---|--|

| | | | | |
|-------------------------------|--|-------------|------------|-----------|
| 適用範囲 (条件) | <p>①適用可能な範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直高 8.0m 以下。 ・1:0.3~1:1.0 の積勾配。 <p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湧水があり、排水処理が必要な箇所。 ・栗石等の大きい粒径の中詰材が入手困難な地域。 ・背面土圧が高い箇所で有効となる。 <p>③適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な腐食環境下。 ・強い酸性を示す土壌 (pH5.0 以下)。 ・黒色有機物混り土や泥炭層等の腐食土で構成される土壌。 <p>④適用にあたり、関係する基準およびその引用元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路土工 擁壁工指針 (平成 24 年度版) | | | |
| 特徴 (優位性・ 注意点等) | <ul style="list-style-type: none"> ・現場打ちコンクリート (胴込・裏込コンクリート) を用いた工程が不要となり、経済性の向上及び工程短縮が見込まれる。 ・大型ブロック積工より使用部材が軽量で、運送コストを低減させ、供給エリアを拡大できる。 ・地耐力が低い現場に適用可能であるため、適用範囲の拡大となる。 | | | |
| 説明図 構造図 | | | | |
| 特許 | 1. 取得済 () 2. 公開中 () 3. 出願中 4. 出願予定 5. 無 | | | |
| 実用新案 | 1. 登録済 () 2. 出願中 () 3. 出願予定 4. 無 | | | |
| キーワード | ①農業生産性向上 ②高付加価値農業 ③生活環境 ④自然環境 ⑤景観保全 ⑥生態系保全 ⑦国土保全 ⑧コスト縮減 ⑨施設管理 ⑩施工作業効率 ⑪施工精度 ⑫長寿命化 ⑬機能診断 ⑭予防保全 ⑮補修工法 ⑯災害復旧 ⑰安全性向上 ⑱その他 | | | |
| 発表文献 | なし | | | |
| 農業農村整備事業における施工実績 (最新 10 件まで) | | | | |
| 事業名 | 事業主体 (農政局、都道府県名等) | 施工年度 | 工事名 | 備考 |
| | | | | |

| 農業農村整備事業以外の施工実績(最新10件まで) | | |
|--------------------------|-------|---------------------------------|
| 発注者 | 施工年度 | 工事名 |
| 宮崎県小林市役所 | 令和元年度 | 令和元年度一般単独災害復旧事業 環境広場管理用道路災害復旧工事 |

※概要表（様式2）に記載している内容の取扱いについては、下記の方針によるものといたします。

1. 概要表の内容は、各申請に基づく情報であり、中国四国農政局においては技術の評価、認定は行っており、参考情報として公表しています。
2. 概要表に関する質問等については、上記の新技术・新工法の間合せ先会社の担当者へ連絡をお願いします。